

コロナ禍後初めての国際クルーズ乗船記

「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」のペナン・フーケットクルーズ

2023.1.2 池田良穂

一昨年以来、国際クルーズを何度か予約したものの、いずれもコロナ禍のもとでキャンセルとなり、ようやく、昨年12月末になって、RCI(ロイヤル・カリビアン・インターナショナル)の「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」のシンガポール発着のクルーズに乗船することができた。

同船に乗るのは2回目で、同型シリーズでは第1船の「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」、「オベーション・オブ・ザ・シーズ」にも乗船したから、同級船でのクルーズはこれが4回目となる。

とにかく、3年ぶりの海外だし、コロナ禍が完全に収まったわけでもなく、ワクチン証明も必要であり、どうなるのかどきどきしながらのコロナ禍後の初の国際クルーズの乗船となった。

しかし、ワクチンの国際証明が必要とされ、シンガポールの入国登録をインターネットで事前に求められた以外は、ほとんど従来と変わりはなく、事前の不安も取り越し苦労に終わった。ただし、孫娘を連れてのクルーズで、RCIは親と同伴は問題がないが、名字の違う孫の場合には、親の同意書、出生証明書が必要とのことで、シンガポールで乗船時に受付窓口でひと悶着。しかしながら、さすがにインターネット時代の文明の利器が活用できる時代となり、係員の指示通りに、日本にいる親にラインで連絡して、同意書のサインを画面上でしてもらい、さらに出生証明書の画像も送ってもら

い、無事、書類ができあがり受付を通過することができた。

クルーズは、シンガポールの新しいクルーズターミナル「マリーナベイ・クルーズセンター・シンガポール」からの出港であった。このターミナルには、前日は「ゲンチン・ドリーム」が停泊していた。名前も変わらず、シンガポール起点の短いクルーズに就航しているようだった。



ゲンチン・ドリームはシンガポール起点のクルーズに就航している。

「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」は12月29日早朝に入港、同センターに着岸して、昼からは乗船が始まっていた。この乗船については、インターネットで事前の登録を済ませておくと、スムーズに乗船手続きができるようになっていたが、前述の孫の件で、書類作成に時間がかかったが、それでも40分ほどで手続きが完了した。

乗船して、14階のセルフサービスレストラン「ウィンドジャマー」で遅い昼食をと

り、その後、キャビンに入った。もちろん、左舷側のベランダのある部屋を予約してあった。船は原則右側通行なので、出入港時やマラッカ海峡での反航船の撮影がしやすいためだ。

これまでのRCIと違っていたのは、船内新聞クルーズ・コンパスが部屋には置かれていないということだった。基本的にはスマホの専用アプリや、部屋のテレビ等を通じて得られるデジタル情報を使ってほしいということのようだ。幸い、日本人コーディネータが乗船していたせいか、日本語の新聞のダイジェスト版だけは部屋に届いていた。部屋に顔を出したルームスチュワードに、英語の船内新聞を入れてほしいと頼んだら、毎日入れてくれるようになった。希望者には従来通り紙の船内新聞がもらえるようになっていた。長年、紙の船内新聞をみて、1日の計画をたてることに慣れてしまっている筆者には、もうすぐついていけないのかもしれない。ただ、船内ではスマホのアプリでスケジュールがわかるので便利ではあった。

船内新聞を見て最初にチェックするのが避難訓練だが、その実施時間が書いていないのも、これまでのクルーズとは違った。船内新聞では、出港30分前の16時までに、それぞれのマスター・ステーションまで行って登録をするようになっていた。指定されたマスター・ステーションに行ってみると、係員が待機しておりルームカードで参加登録を行い、随時集まった数人の乗客に対して救命胴衣の着用のデモンストレーションを見て避難訓練は終了となった。

確かに大定員の大型船では合理的なシステムだ。

CRUISE COMPASS

SPECTRUM OF THE SEAS DAY 2 Friday, December 30, 2022 Penang, Malaysia

WELCOME TO PENANG, MALAYSIA
Penang is an island state just off the coast of north-west Malaysia. Head to historic George Town where bicycles and trishaws dart along narrow streets lined with ornate buildings and varied architecture. Then, take the train up to the cooler, misty-trop air of Penang Hill, walk through the bird sanctuary or one of the nature trails, and take in views of the city below.

TRENDING TODAY
Share your Adventures
Keep your 2022 cards to be deck. Connect to "WiFi@Sea-Spectrum" and go to [spectrum](#) to get started and view your adventures. More: [spectrum](#) and [RCI](#).
8:00 pm - 10:00 pm / 5:00 pm - 10:00 pm, The Vix, Deck 5

North Star
Stand in a room-floored capsule that reveals breathtaking 360-degree views as you gently ascend 300 feet above sea level. More: [The Vix, Deck 5](#)

HELPFUL TIPS FOR TODAY
SeaPass Card and Photo Identification
Please note that SeaPass will not be permitted off or on the ship without their SeaPass Card and Photo Identification (Government Issues).

Malaysian Ringgit
As the Malaysian Ringgit is a non-internationalized currency with restrictions on buying and selling of currency outside of Malaysia - we are unable to provide Foreign Exchange to you or selling in Malaysia. If legal currency forms offices are widely available in the ports of call should you require to purchase Malaysian Ringgit - banknotes will generally not accept foreign currency for payment.

SeaPass Account Hold Charge
You may notice a temporary hold on the credit card your SeaPass card is linked to. This hold is used to secure funds for an unpaid onboard purchase and will be released at the end of the sailing when your final charges are settled.

Watch Out! Time Change
Ahead of your clocks will switch 1 hour backward before setting/adjusting. Ship clocks go backward at 1:00 am on the 31st morning.

Enjoy Penang Your Way
Pirate to Explorer in your own pack? Our onboard staff can help customize your own Pirate to Explorer for a unique adventure in port. Visit the Shore Excursion Desk on Deck 5 9:00 am - 5:00 pm, Shore Excursions, Deck 5

Play your Mystery Credits
Over and over - Spend up to \$100 before this too-late offer expires at 11:59 pm 8:00 pm - arrival 7:30 pm - 10:00 pm, Last to Royle, Deck 3

Let's Get Digital
Download the Royal Caribbean App or your phone and connect early after your ship arrives, reserve your spa for the Bumper Car and North Star and make dining reservations. No internet package required. Connect to WiFi@Sea-Spectrum.

DAILY SNAPSHOT
Arrival 7:30 pm All Aboard 8:30 am
Departure 3:00 pm
Forecast: Partly Cloudy Temperature 82°F / 28°C
Sunrise 7:26 am Sunset 7:15 pm
Winds NE 7 kts Dress Code Casual

YOUR HEALTH IS OUR PRIORITY
We're all in this together. Here are some things to keep in mind for the health and safety of everyone onboard.
Remember to Practice Healthy Habits
It's easy to let your guard down, but please remember to practice healthy habits. This includes physical distancing between your team, group and others. And wash your hands often and thoroughly.

GOOD TO KNOW
Smoking Only Permitted in Designated Areas
Deck 17, 18, 19 and 20
Deck 14, Port Side
*All indoor public spaces and stateroom balconies are smoke-free areas.
TV, Internet and ATM Temporary Outage
Due to the satellite conditions and our position, you may experience temporary TV, Internet, and ATM connectivity issues tomorrow. We appreciate your patience and understanding.
Children's Personal Flotation Devices (PFD)
For the safety and well-being of children, children's swimming and personal flotation devices are available free of charge at the pool deck areas. Personal flotation devices (PFDs) are for use onboard and cannot be taken off the ship.
Beverages and other Liquids
Please note that Royal Caribbean's bar/cafeteria will dispose of any food or beverage returned to the ship. Unopened liquor bottles will be stored onboard for safekeeping and returned to guests on the last day of the cruise.

頼むと紙の船内新聞も入手することができた。

ROYAL CARIBBEAN
SUITE CLASS SEA

YOSHIHO IKEDA
SPECTRUM OF THE SEAS
STATEROOM: 232 ACCOUNT: 14601373
DINING: DECK 3 / MY TIME
CROWN & ANCHOR: DIAMOND

D3
ASSEMBLY STATION

DEBARK: 01/02/2023

部屋の鍵、船内クレジットカード、乗下船管理を兼ねたシーバスクードには、マスターステーション(アセンブリー・ステーション)が大きくD3と書かれていた。

予定通り16時半にシンガポールを出港。すぐにマラッカ海峡のメイン航路に入って北上。日没まで反航船のシッポウオッチングを楽しんだ。逆光ではあったが、それなりに楽しめた。



出港後、たくさんの錨泊船の間を通過して、マラッカ海峡の主航路へと合流した。



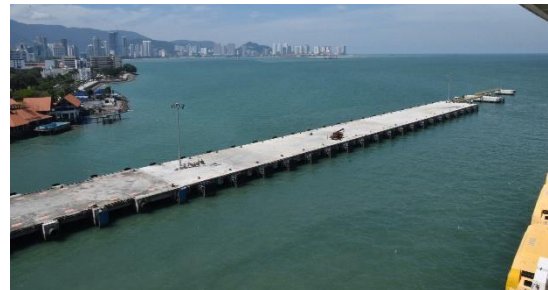
マラッカ海峡での船上シップウォッチング

夕食は、ファーストシットイングとセカンドシットイングの間の時間帯に自由に食事のできる「マイタイム」と指定されていたので、時間に拘束されないクルーズライフが楽しめた。たくさんのレストランをもち、メインダイニングルームは常には一杯にならない現代クルーズならではのシステムだ。

もうひとつ、今までとは変わっていたのはドレスコードの「フォーマル」がなくなっ

て、「ドレス・ツー・インプレス」となっていた。フォーマルでもなんでも「自分に似合う服装を楽しんで!!」ということらしい。これも RCIらしい新しい発想と言えそうだ。

さて今回のクルーズの寄港地は、マレーシアのペナン島とタイのプーケット島。いずれもマリーナリゾートとして有名な観光地だが、両島共に筆者にとっては初めての訪問であった。ペナン島には、20万トン級まで接岸が可能なクルーズ岸壁ができており、大小さまざまなクルーズ客船が寄港しているとのこと。2010年には178隻の入港実績があったとのことだ。最大船が「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」と「オーバーション・オブ・ザ・シーズ」の姉妹船で、それに続くのがキュナードの「クイーン・エリザベス」とのことである。



ペナン島のジョージタウンのクルーズ客船用棧橋。20万総トンまでのクルーズ客船の受入が可能だ。

またペナン港からはクルーズ客船「エージアン・パラダイス」が毎日、昼便と夜便の2回クルーズに出港していることがターミナル内の広告とパンフレットでわかった。

その船が、なんと元「おりえんとびいなす」だった。ペナン港の沖合で同船と遭遇して、その最新の姿をカメラに収めることができた。



ペナン島起点のデイクルーズ、ワンナイトクルーズを行う「エージアン・パラダイス」。元の「おりえんとびいなす」がマレーシアで活躍していた。



ペナン港からは対岸のマレーシア本土との間に高速旅客船とカーフェリーが就航していた。島は本土とは橋で結ばれているが、徒歩客や、バイク・自転車には不便なためのようだ。



マレーシア本土とペナン島を結ぶ高速旅客船とフェリー。フェリーはバイクと自転車に乗せるようだ。

タイのプーケット島では、ビーチの沖に停泊して、2隻のポンツーンを横付けし、地元のクルーズ客船専用のテnderボートが4隻で稼働していた。朝早いバスツアーの客の下船時は整理券が配られて、テnderの時間が指定されていたようだが、しばらくすると自由に好きな時間にテnderに乗れるようになった。テnderの2階には展望デッキがあり、そこから、錨泊する「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の姿を撮影することができて大満足。

もともと海水浴などのマリンレジャーには興味のない筆者なので、海岸線に並ぶレストランの中から1つを選んで、タイ料理とタイビールを楽しんでから船に戻った。





プーケットでは、クルーズ客船専用の4隻の tender ボートが乗客を送迎していた。船の2ヶ所の舷門に、浮棧橋が設置された。



tender ボート船上から「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の姿を望む。



プーケットのビーチから、沖合に停泊する「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」を望む。

プーケットを出港して、船上では日本より2時間遅れのタイ時間で正月を迎えた。バルーンフォール、船長挨拶などがあったらしい。早寝の癖のある筆者は、とても日本時間の午前2時まで起きていることはできなかった。参加した家族から様子を翌日に聞き、撮影したビデオを見せてもらった。

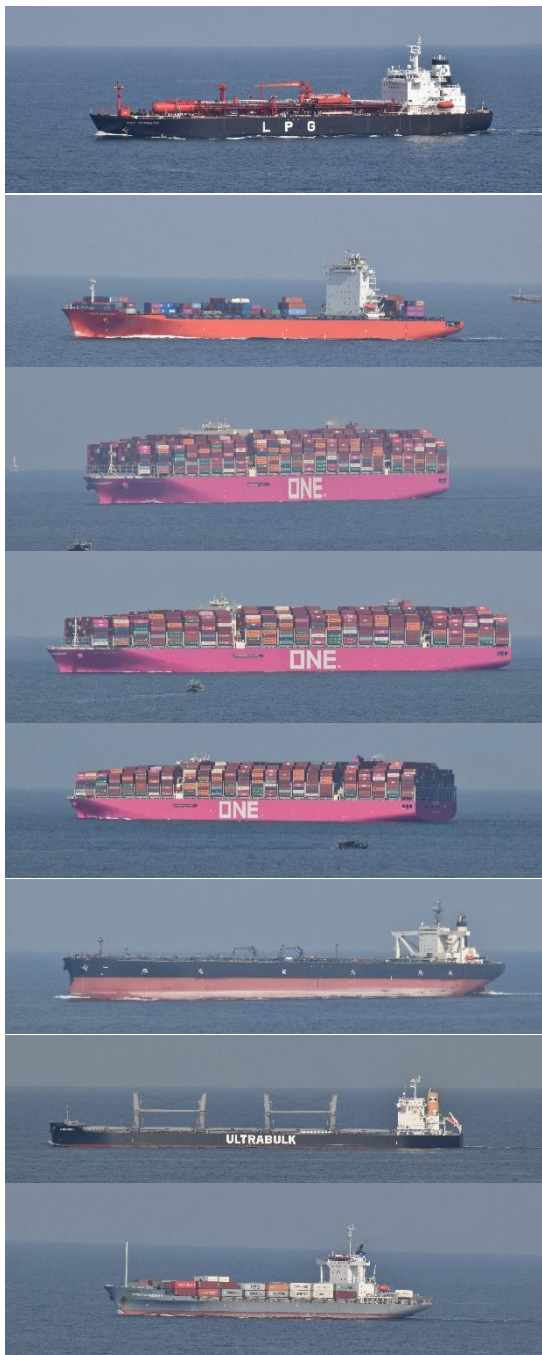


タイ時間の元旦に集まった乗客の様子。正面に船長が現われ、挨拶があった。船内では、船員はマスクをしていたが、乗客でマスクをしているのは5%くらいであった。

1月1日は、全日航海日。午後になってマラッカ海峡の幹線航路に入って、反航する船が一気に増えた。中でも ONE の大型コンテナ船「ONE トリビュート」がコンテナを満載して走る姿は美しかった。日本の海運も頑張っているのが実感できて嬉しい。

こうして日没までシップウォッチングを楽しんだ後、最後のディナーをメインレストランでとった。ウェイターの気持ちのよ

いサービスで楽しい時間を過ごすことができた。最後には、下船後にメールのアンケートが届くので、良い評価を書いて欲しい、というアピールもしっかりとあった。

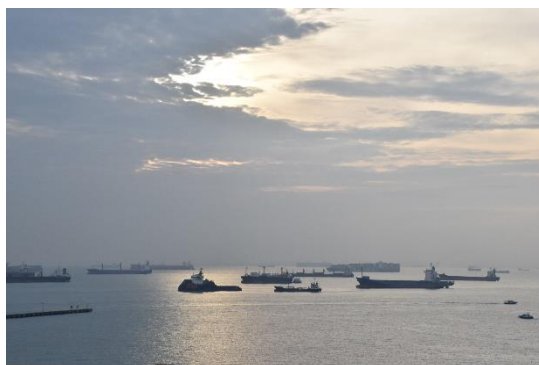


マラッカ海峡を南下する「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」からのシップウォッチング。

最終日は、早朝にはシンガポールのター

ミナルに着岸したようだ。目覚めた時にはもう着いていた。

帰りの飛行機が23時と遅かったので、最後の時間帯の下船にアレンジしてもらったので、荷物をもってターミナルをでたのは10時半くらいになっていた。新しいターミナルは、タクシー乗り場もよく考えられていて、ここでもスムーズにタクシーに乗り、空港まで移動できた。



シンガポールに帰港した「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の船上から見た停泊する船々。

最後に、シンガポール、マレーシア、タイでの物価について報告したい。シンガポールは日本の2~3倍の価格で、いかに日本が物価の安い国かを再認識させられた。一方、マレーシアは日本より少し安め、タイはさらに安めであった。それぞれの場所でレストランでの食事をして、それぞれの物価のレベルは実感できたが、各地のセブン・イレブンでの比較をしてみた結果は、500mlのペットボトルのお茶の価格が、シンガポールで約250円、マレーシアで約80円、タイでは約60円であった。